

④ 北山雨乞い太鼓・雨乞い踊り保存会

所在地：山県市神崎公民館
(〒501-2301 山県市神崎114-1)
代表者：臼田 廣一 会員数：約20名

文化財・地区の概要

山県市(旧美山町)に伝わる、市の重要無形民俗文化財(昭和51年、保存会設立)。起源は不詳だが、^{みねやま}峯山の東方、通称雨乞い平の縦穴鍾乳洞に石を投げ入れ、太鼓を打ち踊って雨乞いをしたとの伝承があり、虫送り、精霊送り、雨乞い等の際に踊られた。太鼓を左右に天地に大きく振りながら叩き、輪になり尻をたたきながら踊る様はリズム感があり豪快であり、豊作、子授かりに通じると言われている。高齢化が進み、後継者不足が深刻化していたが、最近になり、北山地域に働きに来ていた地域外の若手が、その魅力に惹かれ保存会に参加したことがきっかけで、会員が口コミで増えていった。

主な特色

● 深刻な過疎、担い手の不足

伝統芸能を習得している担い手が高齢化し、その子ども世代が故郷を離れて生活しており後継者が不足している。若い世代は極めて少なく、深刻な過疎化が進んでいる。芸能の継承が物理的に困難な状況に追い込まれている。

● 地域外の意欲ある若手を好意的に受け入れ

数年前、北山地域に働きに来ていた地域外の若手が、北山太鼓踊りに魅せられて興味を持ち、自分もやってみたく保存会に参加して活動されたことが、活性化のきっかけとなった。その方は現在、家族ぐるみで練習に参加している。

また、北山地区の豊かな自然と地域の人の温かさに惹かれてこの地で活動している「集落支援員」・「地域おこし協力隊」の若手、その知人の方々も保存会に入り、練習に参加。北山地区では、人と人とのつながり・おもてなしを大切にする風土があり、地域外の若手であっても、好意的に受け入れ、地元住民とともに地域を盛り上げていこうと伝統芸能の指導に励んでいる。

● 舞台公演会を励みに、練習で“絆”

かつては、いろいろな祭りに参加しては太鼓踊りを披露する機会があったが、担い手の不足により、行事への参加・披露する機会が減少している。山県市には北山地区以外にも同様の伝統芸能をもつ地区が幾つもあり、現在では、山県市の協力のもと、年に1度、全ての団体が集まって、舞台公演会が開催されるようになった。この舞台公演会での演舞を目標にすることで、保存会員の励みとなり、毎月第3土曜日19時30分から21時まで神崎公民館にて練習をしている。練習では、若手と地元住民の方が、和気あいあいと楽しみながら絆を育んでいる。



舞台公演会での演舞の様子

ポイント 地域外の担い手を受け入れて共に継承

地域外のやる気のある若手を寛容に好意的に受け入れ、地元住民と共に伝統文化を継承していこうと打ち解けあって練習に励んでいる。舞台公演会での披露という目標ができることによって、練習の励みになり、モチベーションの向上と結束の高まりにつながっている。

今後の展望

過疎化が進み、後継者不足が懸念される。地域おこし協力隊や集落支援員の協力を得て、地域のお祭り、キャンプ場を活用した自然体験イベントなどを通じて、北山太鼓踊りの魅力を発信し、地域外から若い方を受け入れていきたい。

「重要無形民俗文化財舞台公演会」での発表を励みにし、練習を積み重ね、会員、そして地域の絆を強めていきたい。

ぎふ地域の絆づくり支援センターからのお知らせ

コミュニティ・ボランティア育成事業(企業向け出前講座)の受講企業等を募集しています!

地域のコミュニティ活動においては、新たな地域の担い手を発掘・育成することが課題となっています。県では、県内の企業・事業所に講師を派遣し、企業で働く現役世代従業員等を対象に、身近な地域活動への参加のきっかけづくりとなる出前講座を、特定非営利活動法人ぎふNPOセンターに委託して開催しています。講座開催を希望される企業・事業所を随時募集していますので、ご希望される場合は下記までご連絡ください。

- **受講対象** 企業等の従業員及び退職者の方
- **開催日時** 企業等が希望する日時(平成27年3月22日まで)
- **開催場所** 企業等の会議室など、企業等の要望に応じて対応します。
- **費用** 無料(講師の手配や広報・講座資料作成等、講座開催に必要な業務は事務局(委託事業者)が行います。)
- **申込方法** ぎふNPOセンターあて、ご連絡ください。電話 058-275-9739 電子メール npo@gifu-npocenter.org
- **URL** http://www.pref.gifu.lg.jp/kurashi/kurashi-chiikidukuri/chiiki_commu/kouza/